

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業 点検・評価調書

4-
-6

| | | | | |
|------------|--|--------------------|-----------------------------|--------------------------|
| 章 | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 | | 取組項目 | ガイドンス施設整備 |
| | 節 | . ガイドンス機能・ガイド体制の充実 | | |
| 事業(施策)名 | 6 ガイドンス施設整備 | | 事業主体 | 佐渡市世界遺産推進課 |
| | | | 関連団体 | 県文化行政課、佐渡市観光振興課、佐渡市社会教育課 |
| 事業実施期間 | H28～H31 | | | |
| 事業概要 | 【事業目的】 世界遺産の価値を分かりやすく来訪者へ伝えるため、ガイドンス施設の整備を行う。 | | | |
| | 【事業内容】 メインガイドンス施設とサテライトガイドンス施設の機能分担の整理と整備事業を行う。 | | | |
| ②9 事業計画と実績 | 【29年度計画】 メインガイドンス施設建設に向けた実施設計の策定を行う。また、一部工事を着工する。 ガイドンス施設整備は受入体制の整備と一体であり、周遊コースやパークアンドライドや駐車場整備など関係機関との調整を行う。 | | | |
| | 【29年度実績】 建設・展示に係るガイドンス施設整備の実施設計を策定した。 ガイドンス施設建設に伴う建築・電気設備・機械設備工事を発注し、建設に向けた工事に着手した。 ガイドンス施設整備に伴う運営方法等について、関係機関と協議を行った。 | | | |
| 課題・今後の取組 | 【課題】 メインガイドンス施設との連携・事業展開を図るため、各サテライトガイドンス施設の機能分担について関係者で協議する必要がある。 | | | |
| | 【今後の取組】 平成31年4月の開館を目指し、引き続きガイドンス施設建設工事(建築・展示・外構等)を進める。 平成29年度に策定した実施設計をもとに、平成30年度に展示工事に係るガイドンス施設建設工事に着手する。 メインガイドンス施設の効果的な運営及び地域との連携を目指し、関係者との意見交換や協議を行う。 | | | |
| 事業評価 | 【事業の達成度】 [a (b) · c] | | 計画どおりに事業がすすんでいることから、B評価とした。 | |
| | 【事業実施の効果】 [a (b) · c] | | | |
| | 【総合評価】 [A (B) · C] | | | |

a: 進んでいる。 高い。
b: 概ね順調。 概ね適切。
c: 遅れている。 低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。